

インストールし、設定し解決する方法か。 SIP ビデオ カメラ アプリケーションか。 s

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[カメラ アプリケーションをインストールするプロシージャ](#)

[SIP ビデオ アプリケーションと併用するための設定 Cisco CUCM](#)

[カメラ アプリケーションを設定するプロシージャ](#)

[トラブルシューティング](#)

[カメラからログをエクスポートする方法](#)

[カメラ アプリケーションが解決する間、参照するために記録します](#)

[カメラ CLI からのステップおよびコマンドを解決して下さい](#)

概要

この資料は送信することを IP カメラが可能にする Cisco Unified Communications のような外部 SIP クライアントデバイスに出入するレシーブ ビデオは管理します SIP ビデオ アプリケーションを記述したものです。

前提条件

Requirement

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- VSM 7.6 およびそれ以降、カメラ アプリケーション SIPVideo_SX_V4.4.cpk、カメラ モデル 6620、6630、3620、3630、6500PD、7530PD、CUCM 及び IP Phone。
- 外部 mic および外部スピーカーを接続するカメラのハードウェア の 接続。
- CUCM、IP Phone

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は最新のカメラ ファームウェア 2.8 バージョンの VSM 7.8 に基づいています

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークがライブである場合、あらゆるプロシージャの潜在的影響を理解することを確かめて下さい。

カメラ アプリケーションをインストールするプロシージャ

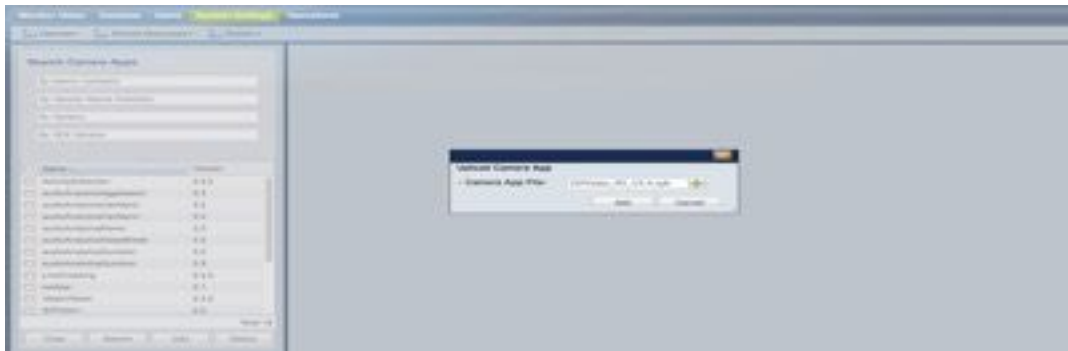
ステップ 1： VSOM へのログイン。

ステップ 2： システム設定 > カメラ アプリケーションへのナビゲート。

ステップ 3.追加しますをクリックして下さい。



ステップ 4.ローカルPC (例えば SIPVideo_SX_V4.4.cpk) からの SIPVideo アプリケーションを参照して下さい

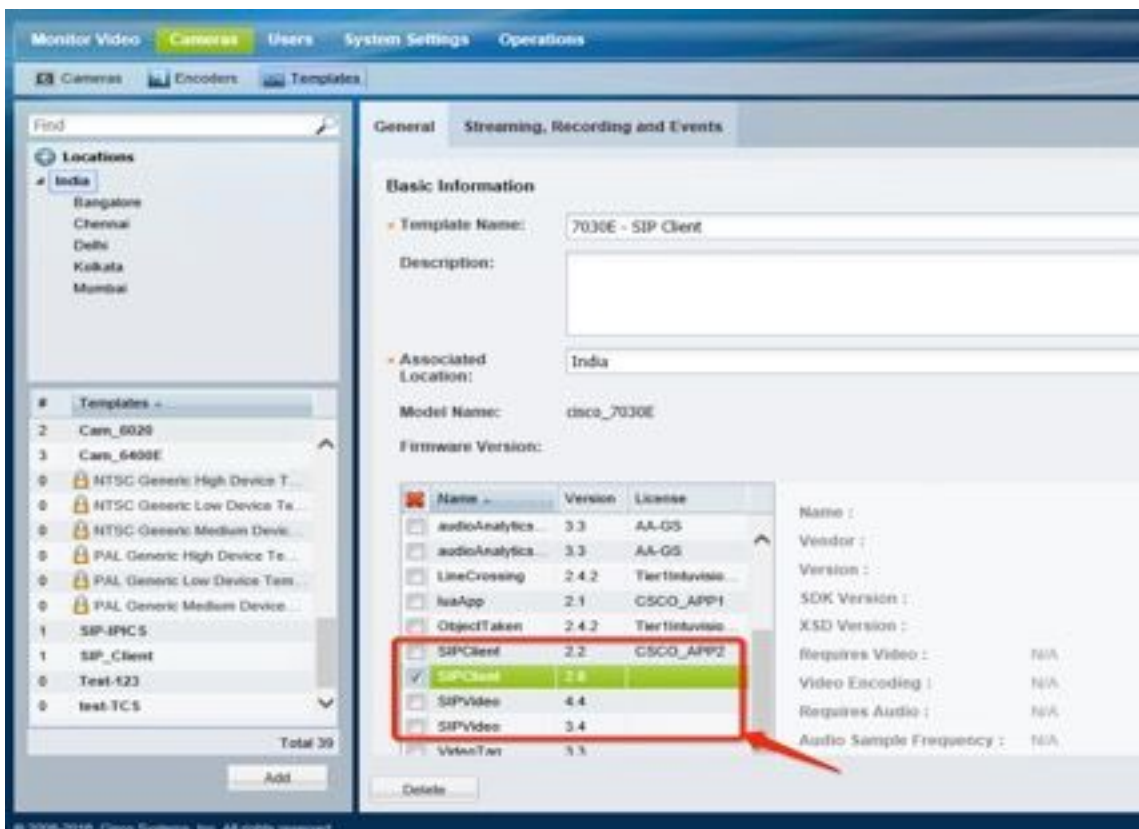


カメラ アプリケーションは cisco.com で利用できます。このリンクをクリックし、必須カメラモデルを選び、型 IP カメラ アプリケーションおよびユーティリティを『Software』を選択して下さい。必須アプリケーションをダウンロードして下さい。

(<https://software.cisco.com/download/navigator.html?mdfid=282090226&flowid=50644>)

この場合、カメラ アプリケーションは VSOM が管理されるカメラ テンプレートで有効になる必要があります

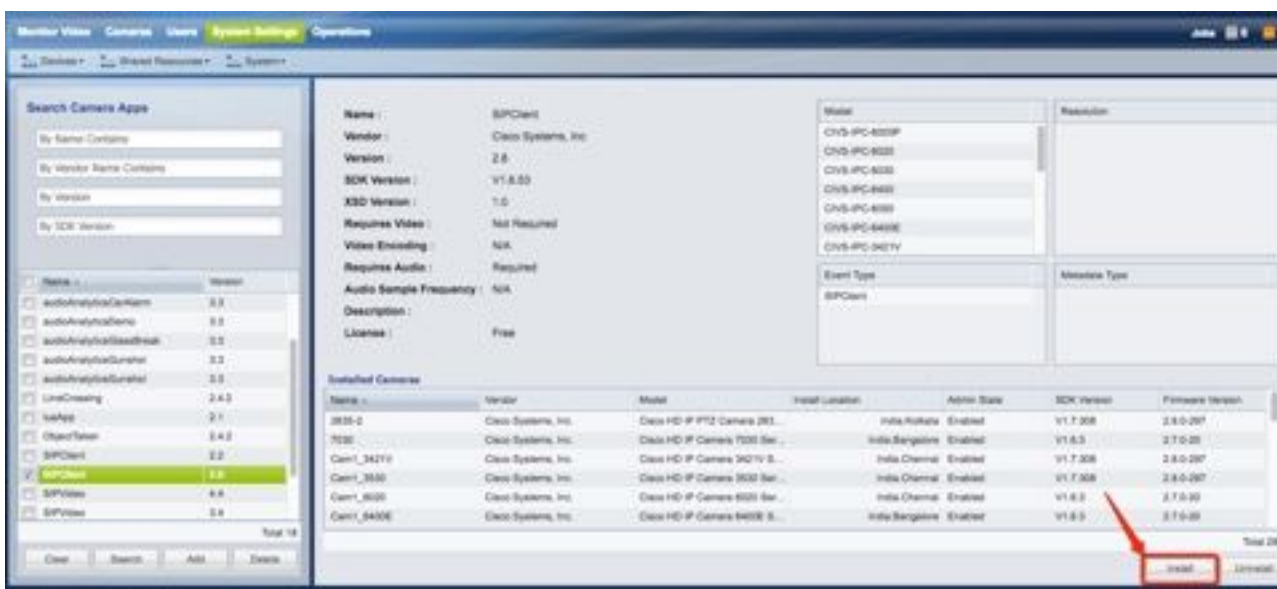
ステップ 5.イメージに示すようにカメラ > テンプレート > カメラ テンプレートに、ナビゲートして下さい:



ステップ 6. SIPVideo アプリケーションを選択して下さい。

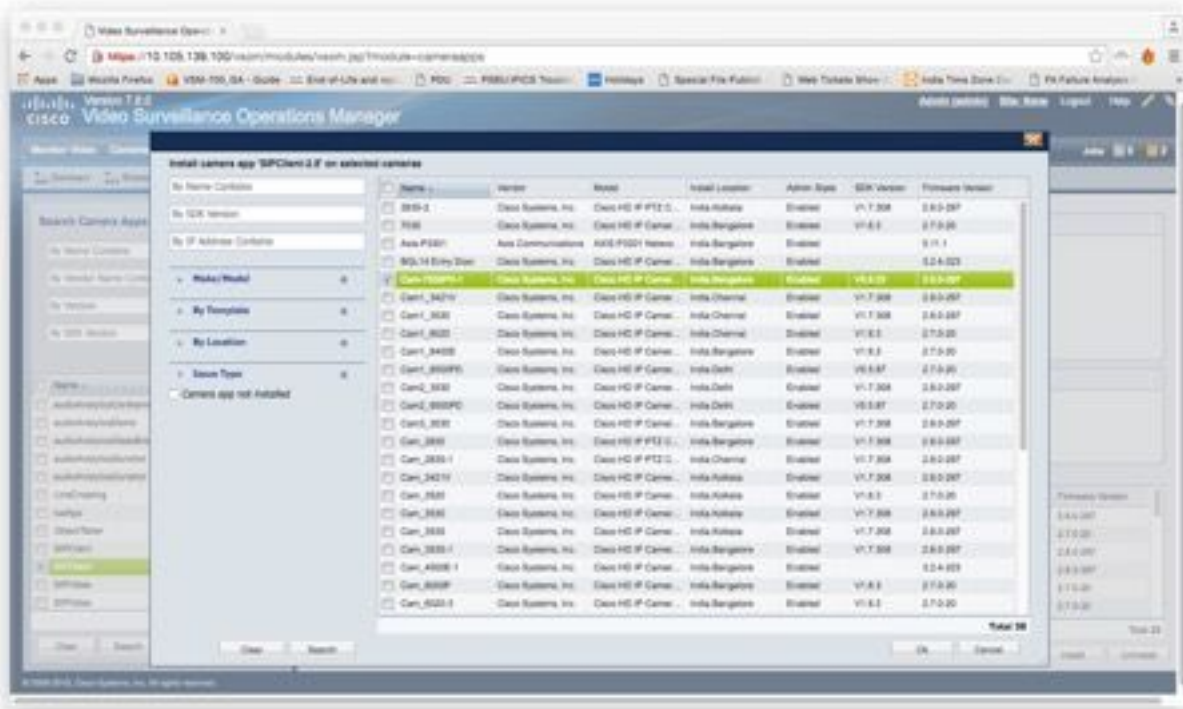
ステップ 7. 『SAVE』 をクリックして下さい。

ステップ 8. システム設定 > カメラ アプリケーションにナビゲートし、SIPVideo アプリケーションを選択し、インストールをクリックして下さい。



ステップ 9 SIPVideo APP がないカメラをリストするためにインストールされないカメラ アプリケーションをチェックして下さい。

ステップ 10 この場合イメージに示すようにアプリケーションが (複数のカメラは選択することができます) インストールされる必要があり、OK で、クリックするカメラのモデルを選んで下さい:



この場合 VSOM はカメラに設定およびアプリケーション データを押しします。アプリケーション はカメラ互換性およびファームウェアのバージョンによってカメラでインストールされています。

これはカメラのカメラ アプリケーションのインストールを完了します。

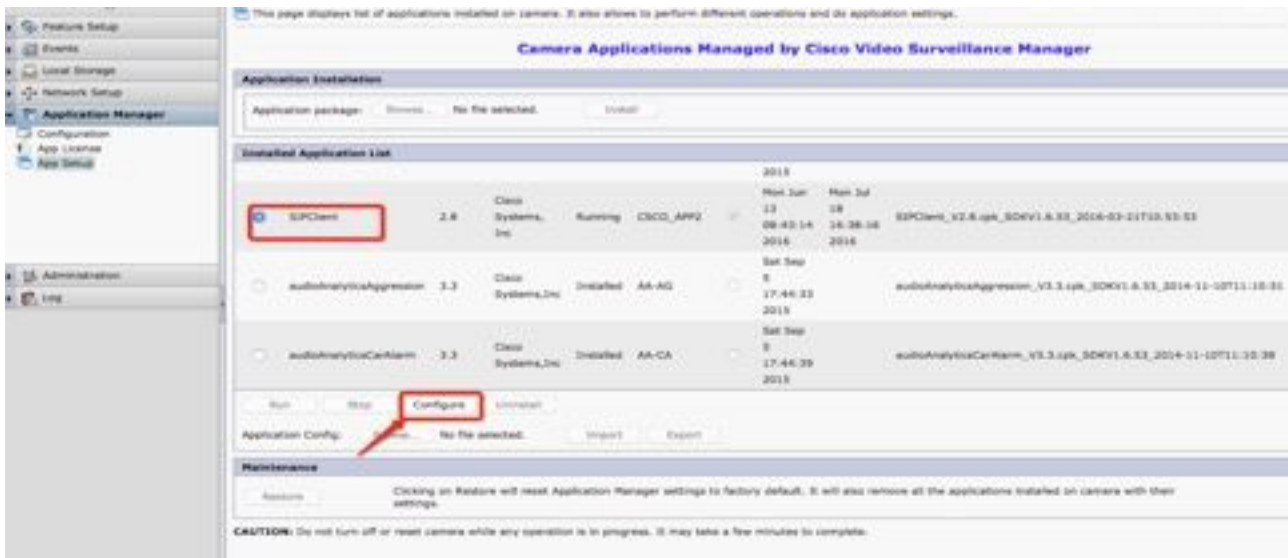
SIP ビデオ アプリケーションと併用するための設定 Cisco CUCM

カメラ アプリケーションを設定するプロシージャ

ステップ 1.カメラ Web GUI へのログイン。

ステップ 2.設定するべきナビゲート > アプリケーション マネージャー > アプリケーション セットアップ。

ステップ 3. SIPVideo を選択し、設定でイメージに示すように、クリックして下さい:



ステップ 4.イメージに示すように SIPVideo App 設定 ページで適切な値を、入力して下さい:



注: 上の設定ではのまたは逆も同じカメラ IP Phone からのオーディオを流すのに、SIPVideo アプリケーションが使用されています。

- アプリケーション モード- CUCM
- SIP サーバ- CUCM IP アドレス
- ユーザネーム-ステップ 15 の下で下記に作成される CUCM からのユーザ名 および パスワードを終了して下さい。

ステップ 5. CUCM へのログイン。

注: Cisco Unified Communications Manager へカメラを追加することはカメラをサポートすることをそのアプリケーションが可能にします。カメラを追加するとき、電話としてデバイスを追加します。SIP ビデオ アプリケーションを実行する各カメラを追加して下さい。

ステップ 6. Device > Phone へのナビゲートは、新しい追加します

ステップ 7 電話のタイプから、三番目の一部 SIP デバイスを選択して下さい (進む)。

ステップ 8.デバイス情報 エリアは、IP カメラの MAC アドレスを入力します。

ステップ 9.デバイス プールのために、Phone ボタン テンプレートは選択しますサードパーティ SIP デバイスを『DEFAULT』を選択して下さい (進む)

ステップ 10 よくある電話プロフィールで、標準よくある電話プロフィールを選択して下さい

ステップ 11： プロトコル対応情報では、デバイスセキュリティ プロファイルは進むサードパーティ SIP デバイスを選択します。

手順 12： 必要なメディア伝達ポイントをチェックして下さい。

手順 13： すべてのデフォルト設定を休息させて下さい。

Phone Type

Product Type: **Third-party SIP Device (Advanced)**
 Device Protocol: **SIP**

Real-time Device Status

Registration: Registered with Cisco Unified Communications Manager CUCM-10
 IPv4 Address: 10.105.139.110
 Active Load ID: None
 Download Status: None

Device Information

Device is Active
 Device is not trusted

MAC Address* 0022BDFB7CAF

Description IP Camera

Device Pool* Default [View Details](#)

Common Device Configuration < None > [View Details](#)

Phone Button Template* Third-party SIP Device (Advanced) [View Details](#)

Common Phone Profile* Standard Common Phone Profile [View Details](#)

Calling Search Space < None >

AAR Calling Search Space < None >

Media Resource Group List < None >

Location* Hub_None

AAR Group < None >

Device Mobility Mode* Default [View Current Device Mobility Settings](#)

Owner User Anonymous (Public/Shared Space)

Owner User ID* 6005

Use Trusted Relay Point* Default

Always Use Prime Line* Default

Always Use Prime Line for Voice Message* Default

Geolocation < None >

Retry Video Call as Audio
 Ignore Presentation Indicators (internal calls only)
 Logged Into Hunt Group
 Remote Device

Number Presentation Transformation

Caller ID For Calls From This Phone

Calling Party Transformation CSS < None >
 Use Device Pool Calling Party Transformation CSS (Caller ID For Calls From This Phone)

Remote Number

Calling Party Transformation CSS < None >
 Use Device Pool Calling Party Transformation CSS (Device Mobility Related Information)

Protocol Specific Information

BLF Presence Group* Standard Presence group

MTP Preferred Originating Codec* 711-ulaw

Device Security Profile* Third-party SIP Device Advanced - Standard SIP N

Routing Calling Search Space < None >

SUBSCRIBE Calling Search Space < None >

SIP Profile* Standard SIP Profile [View Details](#)

Digest User 6005

Media Termination Point Required
 Unattended Port
 Require DTMF Reception
 Allow Presentation Sharing using BFCP
 Allow IX Applicable Media

MLPP and Confidential Access Level Information

MLPP Domain < None >

Confidential Access Mode < None >

Confidential Access Level < None >

手順 14 : エンドユーザの追加方法。

注: エンドユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加し、およびエンドユーザはカメラと関連付けて Cisco Unified Communications Manager と登録するために SIP クライアント アプリケーションを実行するカメラを許可します。Cisco は各カメラで 1 人のエンドユーザおよび関連をそのエンドユーザ作成することを推奨します。

手順 15 : à エンドユーザを『User Management』を選択し、新しい追加して下さい。

The screenshot displays a web-based user management interface. The top section is titled "User Information" and contains a form for creating a new user. The form fields include:

- User Status: Active Local User
- User ID*: 6005
- Password: [Redacted]
- Confirm Password: [Redacted]
- Self-Service User ID: 6005
- PIN: [Redacted]
- Confirm PIN: [Redacted]
- Last name*: Camera
- Middle name: [Empty]
- First name: [Empty]
- Title: [Empty]
- Directory URI: [Empty]
- Telephone Number: 6005
- Home Number: [Empty]
- Mobile Number: [Empty]
- Pager Number: [Empty]
- Mail ID: [Empty]
- Manager User ID: [Empty]
- Department: [Empty]
- User Locale: < None >
- Associated PC: [Empty]
- Digest Credentials: [Redacted]
- Confirm Digest Credentials: [Redacted]
- User Profile: Use System Default("Standard (Factory Default)")

There are two "Edit Credential" buttons on the right side of the form. Below the "User Information" section is the "Service Settings" section, which includes:

- Home Cluster
- Enable User for Unified CM IM and Presence (Configure IM and Presence in the associated UC Service Profile)
- Include meeting information in presence(Requires Exchange Presence Gateway to be configured on CUCM IM and Presence server)
- UC Service Profile: Use System Default

追加して下さいユーザ ID およびパスワード (このユーザのデータはカメラ アプリケーションで使用する必要があります) を

ステップ 16。 ユーザ ID を、パスワード、名字追加して下さい

ステップ 17。 デバイス情報で、デバイス アソシエーションでクリックして下さい。 選択されるカメラ MAC 及び保存を選択して下さい/変更します、そして MAC アドレスは制御装置で視認できるはずです。

ステップ 18。 保存でクリックして下さい。

Device Information

Controlled Devices: SEP0022B0FB7CAF

Available Profiles: [Empty]

CTI Controlled Device Profiles: [Empty]

Device Association: Line Appearance Association for Presence

Extension Mobility

Available Profiles: [Empty]

Controlled Profiles: [Empty]

Default Profile: -- Not Selected --

BLF Presence Group*: Standard Presence group

SUBSCRIBE Calling Search Space: < None >

Allow Control of Device from CTI

Enable Extension Mobility Cross Cluster

Directory Number Associations

Primary Extension: 6005

Mobility Information

Enable Mobility

Enable Mobile Voice Access

Maximum Wait Time for Desk Pickup*: 10000

ステップ 19。デバイス à 電話 > カメラ MAC アドレスにナビゲートして下さい。

ステップ 20。デバイス情報で、オーナーを選択し、『User』をクリックして下さい。

ステップ 21。デバイス情報で、ユーザ ID を『Owner User ID』をクリックして下さい、選択して下さい (ステップから 15) 作成される

ステップ 22。構成を保存して下さい及び適用して下さい。(構成リセットされる、必要であれば)

ステップ 23。カメラ アプリケーションを SIP に CUCM を始めるために再度初期化するようにカメラをリブートして下さい。

ステップ 24。ダイヤルして下さい IP Phone からの 6005 に、オーディオ/ビデオ ストリーミングが始まりますカメラから SIP エンド デバイス (IP Phone)

トラブルシューティング

カメラからログをエクスポートする方法

ステップ 1.カメラ Web GUI へのログイン。

ステップ 2. à 管理 à メンテナンス à カメラを設定するナビゲートは記録します。ログを『Export』 をクリックして下さい。

ローカルPC にダウンロードして下さい

カメラ アプリケーションが解決する間、参照するために記録します

SIPVideo.log –このログは SIPVideo コンフィギュレーション ファイル ステータスおよび最新の config ファイル アップデートステータスを表示します。それはまたカメラの SIPDeamon ステータスの検討で助けます。

Alerts.log –これはカメラのすべてのイベントを、それログのイベントへの参照にある過去問題をデバッグして役立ちます記録します。

Appmgr.log –このログにすべてのアプリケーション関連エントリがあり、またアプリケーションステータスは記録します

Appmgrtrace.log –これはアプリケーションがどのようにについての管理されたり及びヒントを認可するかヒントを記録します。

SIPVideo_verbose.log –カメラ アプリケーションがデバッグと有効になるときシステムがログファイルにアプリケーション関連の情報を書きますロギングを有効にすることを許可します。ログファイルは SIPVideo_verbose.log と名付けられ、/var/log フォルダでこのログがカメラ アプリケーションの完全なトランザクション 詳細を説明する IP カメラで、カメラ アプリケーションへの CUCM 間の通信保存されます。

カメラ CLI からのステップおよびコマンドを解決して下さい

- カメラ APP config ファイルは /usr/apps/appmgr/appMgrConfig.xml で利用できます。このコンフィギュレーション ファイルはカメラによって管理されるアプリケーションはであり、もの VSOM がこれらのアプリケーションを管理しているとの理解するのを助けます。
- SIPClient はこれらのコマンドを使用して停止し、開始することができます:
/usr/apps/SIPVideo/stop.sh
/usr/apps/SIPVideo/start.sh
- この /usr/apps/SIPVideo/html/configparams.xml はファイル カメラ アプリケーションの実行設定を動作することを選択します保持します。

- この `/usr/apps/SIPVideo/config.info` はファイル アプリケーション バージョンを前保持します。
。 SIPVideo 1.0、SIPVideo 2.8